

■平成 30 年度 広報・広聴特別委員会活動報告

1. 今年度の活動経過

本委員会は平成 27 年 5 月に設置され、開かれた議会の実現に必要な広報・広聴機能の調査・研究に積極的に取り組んできた。

今年度は下表のとおり、議会活動報告会に関する協議や、その他広報・広聴に関する協議を行った。

	開催月日	調 査 内 容
1	平成 30 年 6 月 20 日	*平成 30 年度広報・広聴特別委員会の取り組み項目に関する協議 *延岡市議会だよりにより各議員の議案等への可否の掲載を求める陳情の審査
2	6 月 22 日	*議会活動報告会に関する協議
3	7 月 5 日	*議会活動報告会に関する協議
4	8 月 21 日	*議会活動報告会に関する協議 *若年層との意見交換会に関する協議
5	9 月 20 日	*若年層との意見交換会に関する協議
6	10 月 4 日	*議会に係るアンケート調査の実施に関する協議
7	12 月 12 日	*広報・広聴事業の今後の取組に関する協議
8	平成 31 年 1 月 9 日	*議会中継に関する協議 *議会だよりの表紙カラー化に関する協議
9	1 月 16 日	*議会だよりの表紙カラー化に関する協議
10	2 月 26 日	*議会だよりのレイアウトに関する協議
11	3 月 13 日	*議会だよりのレイアウトに関する協議
12	3 月 18 日	*委員会活動の総括

※その他、議会だよりに関する編集作業 9 回、計 21 回の委員会を開催

3. 重点調査事項について

(1) 議会活動報告会

この取組は、延岡市議会基本条例に基づき、平成 25 年度から実施しており、平成 30 年度は、6 月定例会後に 5 地区で開催した。

●開催場所・参加者数(人)

開催地区	日程	会場	参加者数
南方地区	平成 30 年 7 月 24 日	かわまち交流館	14 人
岡富地区	平成 30 年 7 月 24 日	延岡市岡富コミュニティセンター	16 人
東海地区	平成 30 年 7 月 26 日	延岡市東海コミュニティセンター	59 人
恒富地区	平成 30 年 7 月 26 日	延岡市社会福祉センター	18 人
伊形地区	平成 30 年 7 月 26 日	延岡市一ヶ岡コミュニティセンター	8 人
合 計			115 人

●アンケート結果

報告会への参加回数は	初めて 44.3%	2 回目 21.6%	3 回以上 33.0%	無記入 1.1%
内容は良かったか	はい 83.0%	いいえ 4.5%	- -	無記入 12.5%
時間は適当だったか	はい 80.7%	長かった 4.5%	短かった 9.1%	無記入 5.7%
また来てみたいか	はい 88.6%	いいえ 5.7%	- -	無記入 5.7%
ケーブルテレビでの議会中継や FM ラジオ放送を視聴したことはあるか	ある 56.8%	ない 38.6%	- -	無記入 4.6%
広報紙「議会だより」を読んだことはあるか	ある 98.9%	ない 1.1%	- -	無記入 0%
本会議の録画をインターネットで見ることが出来たら、視聴してみたいか	はい 46.6%	いいえ 39.8%	- -	無記入 13.6%
開催をどのような方法で知りましたか（複数回答有）	案内チラシ 35.2%	地区回覧 50.0%	市ホームページ 6.8%	その他 12.5%
	無記入 4.6%			
報告会での意見	<ul style="list-style-type: none"> ◆議員と直接、意見交換できることは大変有意義 ◆人口減少社会になっており、長期的視点での考えや判断を望む ◆市民目線を忘れないでいただきたい ◆地元住民のためにも地元議員に参加していただきたい ◆市民に見える議会活動を今後とも展開していただきたい ◆議会報告会に若い人も来るように工夫して欲しい ◆参加者が少ないのが残念 			

●今後の対応

参加者総数は、前年度に比べて減少しており、開催地区ベースで前回開催時と比較した場合においても減少傾向にある。

開催の案内については、開催地区の区長への案内文書配布や、今年度は、組回覧による開催地区の全世帯を対象に周知を行ったところであるが、まだまだPR不足との意見もあることから、今後は、開催日時を早めに周知することやFM ラジオを活用した周知など参加してもらうための取組を検討する。

また、報告会の内容については、開催する毎に資料の改善を図っており、市民に分かりやすい内容となるよう心掛けているが、市民が何を求めているかという視点を一層意識しながら改善を図っていく必要がある。

この取組は、平成 25 年度から開始し、議会にとって貴重な広報・広聴の場であることから、今後は、市民参加型の開催方法を検討し、開催場所や時期なども必要に応じて見直しを行いながら取り組んでいきたい。

(2)若年層との意見交換会

この取組は、若い世代の意見を聞き、まちづくりの参考とすること及び議会に親近感を持ってもらうことを目的として、平成 27 年度から新たに始めたものであり、今年度は、九州保健福祉大学の学生と意見交換を実施した。

今年度は、下記の5つのテーマについて意見交換を行い、若い世代の視点で、様々な意見が出され、活発な意見交換が行われた。また、より多くの学生から意見を聴取するといった観点から、新たな試みとして1グループを5人程度とし、少人数編成での意見交換を実施したところである。少人数編成にしたことにより、より多くの学生から意見を聴取することができ、有意義な意見交換会となった。

●若年層との意見交換のテーマ

- ① 延岡の印象や魅力について
- ② 若者が市外へ流出する理由について
- ③ 駅前複合施設エンクロスの感想や改善点、延岡駅前西口街区の再開発に期待すること
- ④ 延岡駅を起点とした公共交通（電車・バス）の利便性について
- ⑤ 防災について

●開催場所・参加者数(人)

日程	会場	参加者数
平成 30 年 10 月 29 日	九州保健福祉大学	29 人

●アンケート結果

(九州保健福祉大学)

機会があればまた参加してみたいか	参加したい	どちらとも言えない	参加したくない	無記入
	39.3%	57.1%	0.0%	3.6%
議会の仕組み等についての説明は分かりやすかったか	分かりやすかった	どちらとも言えない	分かりにくかった	無記入
	67.9%	32.1%	0.0%	0.0%
議員との意見交換は楽しめたか	楽しめた	どちらとも言えない	楽しめなかった	無記入
	78.6%	21.4%	0.0%	0.0%
意見交換を通して、新たに延岡の魅力を発見したり、再確認することができたか	できた	どちらとも言えない	できなかった	無記入
	67.8%	28.6%	3.6%	0.0%
今後自分たちのまちをよくするために選挙に行ってみたくと思うか	行ってみたく	どちらとも言えない	行きたいと思わない	無記入
	60.7%	28.6%	10.7%	0.0%
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ◆延岡に来てまだ1年経っていないが、食べ物がおいしくて、優しい方が多いのでとても良いところだと思った。これから延岡がより良くなることを期待する ◆延岡は食べ物がおいしいのに、県外にほとんど伝わっていないのがとても残念 ◆自分達の街を自分達で作っていくということに間接的に繋がるのではないかと思うので、このような機会がもっとあれば良いと思う ◆学生の意見が市政に取り入れられたらいいなと思った ◆延岡の知らないことをたくさん知れたので良かった ◆延岡市を第2の故郷と胸を張って言えるよう今後の発展に期待する ◆若者が遊べる場所が少ない ◆公共交通の便が悪いので、通学等に苦労している 			

●今後の対応

延岡の将来を担う若者との貴重な意見交換の場であることから、今後も継続実施していく予定である。この機会を通して、まちづくりだけではなく、防災や公共交通など様々なテーマについて若者ならではの意見を聴取し、議会活動に生かしていくとともに、今後も改善を図りながら、参加者に政治や議会に興味を持ってもらえるような意見交換会となるよう努めていきたい。

また、選挙権年齢が満18歳に引き下げられたことから、政治がより身近になったことを感じてもらえるよう、主権者教育の一環として、引き続き高校生との意見交換会を実施するとともに、さらに、今後は中学生を対象とした意見交換会や議会に関する講座等の開催を検討していきたい。

(3)議会だより

本年度は、より市民に親しまれ、読まれる紙面づくりの観点から他議会の議会だよりなども参考に、調査・研究を行ってきたところである。

●今後の対応

議会だよりについては、必要な見直しを適宜行ってきたところであるが、調査・研究の結果を踏まえ、平成31年5月1日発行分から表紙及び裏表紙をカラー刷りとする。

また、一般質問の掲載については、これまで議員の顔写真と質問項目を一括して掲載してきたところであるが、今後は、質問者と質問項目が明確になるようなレイアウトに変更するとともに、さらに市民に開かれた、わかりやすいものとなるよう充実を図っていく必要がある。

(4)議会中継

議会中継については、現在、平成13年6月からケーブルテレビ、また平成24年3月からFMラジオによる放送を行っているが、いずれも生放送で、日中仕事をしている人などは視聴できない現状があり、幅広い対象者の視聴手段の確保のため、これまでインターネットによる議会映像の録画放送について検討を行ってきた。

また、本年度は、インターネット以外による放送手段の可能性を調査するため、県内類似都市における状況の調査を行うとともに、本市において、普及率及び加入率が高いケーブルテレビによる再放送について、費用や放送手段、放送日等の調査・研究を行った。

●今後の対応

来年度以降も、ケーブルテレビ及びFMラジオによる放送を継続していくとともに、今後も引き続き、放送の手法や費用対効果の検証など、さらなる研究を行いながら、インターネット放送の検討を進めていく必要がある。

また、ケーブルテレビによる再放送については、再放送に係る費用の検証や全国的にはインターネットによる録画放送が増えてきている状況を踏まえ、今後とも調査・研究を進めていくこととする。

3. まとめ

本特別委員会は、平成27年5月に設置され、延岡市議会基本条例にも定められている通り、多様な広報手段を活用することにより、開かれた議会の実現に向けた調査・研究を進めてきた。平成27年度、29年度には、先進地調査を行い、議会広報誌の効果的な活用方法や議会のインターネット配信、議会活動報告会の手法やあり方など、広報・広聴活動を推進するに当たり大変有意義な調査が実施できたところである。

議会の広報・広聴においては、より多くの市民が議会と市政に関心を持ってもらうことが重要であり、議会活動の内容及びその成果を市民に対して、そのことをわかりやすく説明することが求められている。

そのため、今後も議会活動報告会や議会だよりの発行、議会放送については、先進地の事例も参考にしながら改善を図り、より充実したものとなるよう努めていく必要がある。